

## 10 健康づくり

### ◆ 健康手帳交付

健康診査及び医療受給の記録、その他の健康保持のために必要な事項を記載し、市民が自らの健康管理と適切な医療受給に役立てられるように、健康手帳を交付した。

区分	交付冊数	
	元年度	2年度
40歳以上希望者	47	30

### ◆ 訪問指導

心身の状況、家庭環境等に照らして、保健指導が必要と認められる者に対して、心身の機能の低下防止と健康の保持増進を図ることを目的とした訪問指導を保健師等が行った。

実施主体	40歳未満		40歳以上 65歳未満	
	実人数	延人数	実人数	延人数
地域保健課	2	2	1	7

注：65歳以上は「3 高齢者保健福祉 ◆介護予防事業（1）訪問指導」参照

### ◆ 健康教育・健康相談

市民が生涯を通じて健康で暮らすことができるように生活習慣の改善等健康に関する正しい知識の普及を図るとともに、「自らの健康は自ら守る」という意識を高めるために各種の教育・相談を行った。

#### (1) 出前講座

自治区、自主サークル等地域で活動している人や、学校に対して、生活習慣病予防・健康づくりに関する講話を行った。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、出前講座は中止し、課内作成リーフレットを配布して、健康づくりの啓発を行った。

《学校》実施者／保健師

テーマ	年度	30	元	2
生活リズムの大切さ	開催数	24	31	—
	参加人数	5,849	6,579	—

《自治区等》

実施者／保健師、健康づくりリーダー、歯科衛生士、ウォーキング指導員、インストラクター

内容（講座名）	年度	30	元	2
運動 「あなたのカラダ年齢は？」	開催数	4	1	—
	～39歳	—	—	—
	40～64歳	120	15	—
	65歳～	—	—	—
	計	120	15	—
運動、認知症予防 「めざせ！ナイスシニア」 （「筋力アップ！転ばぬ先の杖」はH30にて廃止）	開催数	28	33	3
	～39歳	—	—	—
	40～64歳	64	6	59
	65歳～	565	869	—
	計	629	875	59
認知症 （「あなたの脳は元気ですか？」はH30にて廃止し、「めざせ！ナイスシニア」に統合）	開催数	29	—	—
	～39歳	—	—	—
	40～64歳	50	—	—
	65歳～	648	—	—
	計	698	—	—
各種生活習慣病の予防、健康づくり 「知ろう！健康生活」	開催数	95	90	10
	～39歳	50	31	—
	40～64歳	167	122	180
	65歳～	1,999	1,827	—
	計	2,216	1,980	180
その他	開催数	60	58	4
	～39歳	124	240	—
	40～64歳	184	770	65
	65歳～	1,282	2,029	—
	計	1,590	3,039	65
計	開催数	216	182	17
	～39歳	174	271	—
	40～64歳	585	913	304
	65歳～	4,494	4,725	—
	合計	5,253	5,909	304

(2) 健康相談

市民が健康について気軽に相談できるように、来所又は電話による健康相談窓口を開設している。また、交流館や学校などが開催するイベント等に出向き健康相談を実施した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、イベント等における相談については中止とした。

内容／体組成チェック・血圧測定・血管年齢測定などの実施、生活習慣病予防、健康不安等に対する助言、保健指導(歯科関係含む)

年度	元		2	
	回数	人数	回数	人数
来所・電話相談	44	44	75	75
イベント等における相談	212	5,777	—	—

## ◆ 健康診査

豊田市国民健康保険加入者(40歳以上満74歳以下)を対象として、生活習慣病の早期発見により生活習慣の改善を図るためメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施した。また、後期高齢者医療制度被保険者に対しては、後期高齢者医療健康診査を実施した。

### (1) 特定健康診査

対象	40歳以上満74歳以下の豊田市国民健康保険に加入している市民	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査、貧血検査等一定の基準に達し、かつ医師が必要と認めた場合は、眼底検査を実施	
年度	元	2
受診者数(人)	23,372	20,251
受診率(%)	37.4	33.3
動機付け支援該当者数(人)	1,988	1,723
積極的支援該当者数(人)	383	313

注：国庫負担金実績報告時数値に基づく

### (2) 特定健康診査受診勧奨

特定健康診査の受診率向上を図るため、はがきによる受診勧奨を実施した。

対象者	① 令和2年4月1日現在の被保険者のうち過去の受診状況、検査値、問診項目等を分析し、受診が期待できる人 ② 令和2年3月以降に国保に加入した40・41・42歳、60～73歳						
内容	受診のパターンに分類したはがきを作成して送付						
発送時期	① 7月末、9月末 ② 8月～11月						
実施状況	対象者		7月発送	9月発送	実発送者数	受診者数	受診率
	①	3年間に不定期受診がある人	8,652	11,167	11,899	6,219	52.2%
		過去3年間に受診のない人	—	14,833	14,833	1,476	9.9%
		前年国保加入者	2,348	—	2,348	756	32.2%
	計		11,000	26,000	29,080	7,220	29.1%
	②	新規国保加入者	—	—	2,192	463	24.6%

### (3) 後期高齢者医療健康診査

対象	後期高齢者医療制度被保険者の市民(概ね75歳以上)	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査、心電図検査、貧血検査等一定の基準に達し、かつ医師が必要と認めた場合は、眼底検査を実施	
年度	元	2
受診者数(人)	14,832	13,592
受診率(%)	32.8	28.8

### (4) いきいき健診

対象	生活保護受給者及び中国残留邦人支援給付制度該当者(40歳以上)	
健診内容	問診、身体計測、血圧測定、血液検査、尿検査等	
年度	元	2
受診者数(人)	58	54
受診率(%)	3.3	3.1

## ◆ がん検診等

健康増進法に基づき、がんを早期発見し、早期に治療に結びつけるため、医療機関にて各がん検診を実施した。要精密検査者の未受診調査を徹底し、受診勧奨を行った。

注：受診者数、要精密検査者数、要精密検査受診者数は、令和3年4月6日時点で市が把握した情報で作成

### がん検診受診者数と受診率の推移

検診名	受診者数			受診率(%) 1)			国の統計 2)	
	30年度	元年度	2年度	30年度	元年度	2年度	受診数	受診率
胃がん	17,202	16,675	13,276	9.0	9.2	8.6	5,321	9.41
大腸がん	25,231	25,359	21,127	9.7	9.6	8.0	9,118	5.57
子宮頸がん	8,114	8,201	6,966	9.9	10.0	9.2	5,536	9.52
乳がん	9,234	9,321	7,938	13.0	12.9	12.0	3,101	8.09
肺がん	20,786	20,890	17,530	9.0	8.9	7.4	6,130	3.74
前立腺がん	5,710	5,525	4,393	10.4	10.1	8.1	—	—

注 1)各年度の4月1日現在人口を対象とする

胃がん・子宮頸がん・乳がんは(前年受診者数+当年受診者数-連続受診者数) / 人口

2)地域保健報告に計上するもの。40~69歳(胃がんは50~69歳、子宮頸がんは20~69歳、乳がんはマンモグラフィ検査のみ)を対象としている

### 令和元年度がん検診等のまとめ

検診名	受診者数	要精検者数	要精検者率(%)	精検受診者数	精検受診率(%)	がんの診断	がん発見率(%)	陽性反応的中度(%)	精検結果未把握数
胃がん	16,675	1,344	8.06	1,159	86.2	34	0.20	2.53	185
大腸がん	25,359	1,940	7.65	1,456	75.1	56	0.22	2.89	484
子宮頸がん	8,201	156	1.90	136	87.2	—	—	—	20
乳がん	9,321	321	3.44	305	95.0	46	0.49	14.33	16
肺がん	20,890	236	1.13	209	88.6	10	0.05	4.24	27
前立腺がん	5,525	263	4.76	153	58.2	29	0.52	11.03	110
肝炎	3,120	—	—	—	—	—	—	—	—

注：肺がん検診要精検は、胸部X線判定E、又は喀痰検査判定D・Eに該当するもの

### (1) 胃がん検診

対象		35歳以上の市民			
検査内容		問診、胃部エックス線直接撮影または胃内視鏡検査、二重読影			
年度		元		2	
区分		受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
胃部X線	男	6,240	624	4,877	459
	女	7,218	360	5,594	287
内視鏡	男	1,472	200	1,357	171
	女	1,745	160	1,448	110
合計		16,675	1,344	13,276	1,027

注：総合がん検診受診者数含む

## (2) 大腸がん検診

対象	35歳以上の市民			
検査内容	問診、免疫便潜血検査(2日法)			
年度	元		2	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者
男	11,131	1,033	9,381	909
女	14,228	907	11,746	765
合計	25,359	1,940	21,127	1,674

注：総合がん検診受診者数含む

## (3) 子宮頸がん検診

対象	20歳以上で偶数年齢、21歳の女性			
検査方法	問診、視診、内診、細胞診、コルポスコープ(医師が必要と認めた場合)			
年度	元		2	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
人数	8,201	156	6,966	147

注：総合がん検診、がん検診推進事業受診者数含む

## (4) 乳がん検診

対象	30歳以上で偶数年齢、41歳の女性			
検査方法	問診、超音波検査またはマンモグラフィー検査(二重読影)			
年度	元		2	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
超音波検査	4,646	120	3,818	85
マンモグラフィー検査	4,675	201	4,120	169
合計	9,321	321	7,938	254

注：総合がん検診、がん検診推進事業受診者数含む

## (5) 肺がん検診

対象	40歳以上の市民			
検査方法	問診、胸部X線直接撮影、二重読影、喀痰細胞診			
年度	元		2	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
男	9,949	306	8,421	278
女	10,941	348	9,109	230
合計	20,890	654	17,530	508

注：総合がん検診受診者数含む

## (6) 前立腺がん検診

対象	50歳～70歳の市民(男性)			
検査方法	問診、PSA検査(血液検査)			
年度	元		2	
区分	受診者数	要精検者数	受診者数	要精検者数
人数	5,525	263	4,393	213

注：総合がん検診受診者数含む

## (7) 胸部エックス線検査

対象	40歳以上の市民			
検査内容	胸部X線直接撮影(正面)			
年度	30	元	2	
区分	受診者数	受診者数	受診者数	要精検者数
特定等と同時実施	16,737	17,827	16,901	429
単独実施	1,739	1,896	1,696	46
合計	18,476	19,723	18,597	475

## (8) 肝炎検診

対象	40歳以上5歳刻みで過去に豊田市の肝炎検診を受けたことがない市民
検査内容	問診、B型肝炎ウイルス検査(HBs抗原検査)、C型肝炎ウイルス検査(HCV抗体検査、HCV核酸増幅検査) HCV核酸増幅検査は、HCV抗体検査で中力価・低力価と判定された者のみ実施

### B型肝炎検診受診者

年度	元			2		
区分	受診者数	陽性	陰性	受診者数	陽性	陰性
男	1,335	5	1,330	1,056	5	1,051
女	1,519	11	1,508	1,209	8	1,201
合計	2,854	16	2,838	2,265	13	2,252

### C型肝炎検診受診者

		受診者数	感染している可能性が高い		感染している可能性が低い	
			判定①	判定②	判定③	判定④
令和元年度	男	1,335	3	1	9	1,322
	女	1,519	1	1	8	1,509
	合計	2,854	4	2	17	2,831
令和2年度	男	1,056	2	1	9	1,044
	女	1,209	3	0	6	1,200
	合計	2,265	5	1	15	2,244

注：C型肝炎判定区分の説明

判定①／HCV抗体検査「高力価」

判定②／HCV抗体検査「中・低力価」、HCV核酸増幅検査「陽性」

判定③／HCV抗体検査「中・低力価」、HCV核酸増幅検査「陰性」

判定④／HCV抗体検査「陰性」

## (9) 総合がん検診(再掲)

40歳、50歳、60歳の節目において、各がん検診をまとめて受診できるよう総合がん検診を実施した。

対象	40歳、50歳、60歳の市民			
検診内容	胃がん検診、大腸がん検診、肺がん検診、子宮頸がん検診(女性のみ)、乳がん検診(女性のみ)、骨塩定量検査(女性のみ)、前立腺がん検診(50歳、60歳の男性のみ)、肝炎検診(過去に受診歴のない希望者)、脳ドック(50歳の希望者)			
	40歳検診	50歳検診	60歳検診	合計
男	31	76	49	156
女	126	184	194	504
合計	157	260	243	660

### (10) 脳ドック(総合がん検診と同時実施)

総合がん検診において、50歳の希望者に脳ドックを実施した。

対象		50歳の市民		
検査方法		問診、MRI検査、MRA検査		
区分		総合がん検診受診者数	脳ドック受診者数	受診率(%)
50歳	男	76	39	51.3
	女	184	118	64.1
合計		260	157	60.4

### (11) がん検診推進事業(再掲)

特定の年齢を対象に、子宮頸がん検診、乳がん検診が無料となるクーポン券と検診手帳を配布し、がん検診の受診促進を実施した。

対象	子宮頸がん検診	21歳の女性		
	乳がん検診	41歳の女性		
期間		6月1日～3月19日		
検査場所		市内の協力医療機関		
区分		受診者数	要精検者	
子宮頸がん検診		220	2	
乳がん検診		455	36	

クーポン券発送者に対して、受診勧奨案内を発送した。発送日：9月28日(月)

区分	対象者	発送数
子宮頸がん検診	21歳の女性で、7月時点で未受診の人	2,263
乳がん検診	41歳の女性で、6月時点で未受診の人	2,541

## ◆ 女性の健康づくり

健診を受診する機会のない女性を対象に、検診と必要に応じた保健指導を行い、健康管理に関する正しい知識の普及と健康づくりの推進を図った。

### (1) レディース検診

対象者	当該年度中に19～39歳になる女性		
日程	第1、3火曜日(全24回)		
検査内容	身長、体重、聴打診、血圧測定、尿検査、骨密度検査(二重DEXA法)、血液検査(総コレステロール、中性脂肪、HDLコレステロール、貧血)		
検査場所	豊田地域医療センター		
定員	40名/回		
年度	30	元	2
受診者数	114	106	82



## (2) 骨粗しょう症検診

対象者	当該年度中に 40 歳、45 歳、50 歳、55 歳、60 歳、65 歳、70 歳になる女性		
日程	第 1、3 木曜日(全 24 回)		
検査内容	問診、骨密度検査(二重 D E X A 法)		
検査場所	豊田地域医療センター		
定員	20 名/回		
年度	30	元	2
受診者数	205	159	113
うち負担金免除受診者数	20	19	8

## ◆ 特定保健指導

### (1) あなたのための健康教室

豊田市特定健康診査を受診した者に対して、指導レベル別に特定保健指導を実施した。

内容		メタボリックシンドローム・栄養・運動・喫煙に関すること					
場所		市役所・支所・交流館・高岡農村環境改善センター等					
年度	区分	対象者数 (健診受診時に 国保加入者)	初回実施者数 (初回実施時に 国保加入者)	実施率(%) (初回実施者/ 対象者)	終了者数	終了率(%)	
						終了者/ 初回実施者	終了者/ 対象者
元	積極的支援	379	33	8.7	29	87.9	7.7
	動機付け支援	1,976	213	10.8	203	95.3	10.3
	合計	2,355	246	10.4	232	94.3	9.9
2	積極的支援	307	13	4.2			
	動機付け支援	1,703	93	5.5			
	合計	2,010	106	5.3			

### (2) からだに栄養講座

特定保健指導における最終評価を正確に行うとともに、指導終了後も適切な生活習慣を継続できるよう動機付けを行った。

対象者	動機付け支援の最終評価対象者 (積極的支援中間評価後の者も参加可とする)
内容	動機付け支援最終評価(測定)・栄養に関する確認講話、 低カロリー弁当の試食、ワンポイントアドバイス等
場所	市役所
実施期間	令和元年 11 月～令和 2 年 2 月
参加者数	23 名(1 回平均 7.7 名)
実施回数	3 回(令和 2 年 3 月以降は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止)

### (3) 運動教室(特定保健指導運動編)

特定保健指導対象者等に、ウォーキングや筋トレ等の正しい知識や技術を学ぶ場を提供し、継続的に日常生活に運動を取り入れるきっかけづくりを行った。また、運動講義実技後、小グループ分かれて管理栄養士によるミニ栄養講座を実施した。

対象者	特定保健指導初回指導に該当する者
講師	健康運動指導士、管理栄養士等
場所	スカイホール豊田
内容	ウォーキングや筋トレ等の正しい知識や技術を学ぶ。 ミニ栄養講座
教室開催数	7回
参加実人数	39名

#### (4) 糖尿病重症化予防

特定健康診査受診者のうち、糖尿病が重症化するリスクの高い医療機関未受診者及び受診中断者に対して受診勧奨をした。

(令和3年3月末時点)

対 象	令和2年度豊田市国民健康保険特定健康診査受診者のうち、次に掲げる条件を満たす人  (1) 特定健康診査の結果がア～ウのいずれかに該当する人 ア HbA1c 7.0%以上 イ 「HbA1c 6.5%以上7%未満」かつ「eGFR45ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満または尿蛋白(+)以上」 ウ 「HbA1c 6.5%未満かつ空腹時血糖126mg/dl以上(随時血糖200mg/dl以上)」かつ「eGFR45ml/min/1.73m <sup>2</sup> 未満または尿蛋白(+)以上」 (2) 特定健康診査を受診した年度内に糖尿病の治療がない人																												
内 容	特定健康診査結果の説明、医療機関への受診勧奨、生活習慣改善に向けた保健指導																												
実施状況	<p>1 特定保健指導対象者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手段</th> <th>電話</th> <th>不通</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>76</td> <td>12</td> <td>7</td> <td>95</td> </tr> </tbody> </table> <p>不通の人には受診勧奨手紙を送った。 電話がつながった76人のうち、9人が特定保健指導を受講した。 その他の内訳は健診前より医療機関受診(7人)のため、実施せず。 注：令和2年度健診受診者から対象者を抽出</p> <p>2 特定保健指導非対象者のうち令和2年度事業実施者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>元</th> <th>2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>面接</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>6</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>手紙</td> <td>3</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>33</td> </tr> </tbody> </table> <p>注 1) 令和元年度は令和元年12月から令和2年1月の特定健康診査受診者から対象者を抽出 2) 令和2年度は令和2年4月から令和2年11月の特定健康診査受診者から対象者を抽出</p>	手段	電話	不通	その他	計	人数	76	12	7	95	年度	元	2	訪問	0	0	面接	0	0	電話	6	19	手紙	3	14	計	9	33
手段	電話	不通	その他	計																									
人数	76	12	7	95																									
年度	元	2																											
訪問	0	0																											
面接	0	0																											
電話	6	19																											
手紙	3	14																											
計	9	33																											

### (5) 「あなたの健康復活プロジェクト」

特定健康診査の結果において特定保健指導の対象とならないが、血液検査等リスク項目がある者を対象に、講義や実技を通して自ら健康管理できる力を身につけることで、生活習慣病の発症予防を図る。

対象	<p>前年度の特定健康診査結果において、次の3つに該当し、検査値基準7つのうち3つ以上該当する人</p> <p>① 特定保健指導レベルが「情報提供」で、高血圧、糖尿病、脂質異常症の治療内服していない</p> <p>② 70歳以下（令和3年4月1日現在）</p> <p>③ 前年度の生活習慣病予防事業に参加していない</p> <p>検査値の基準</p> <p>①収縮期血圧 130mmHg以上 ②拡張期血圧 85mmHg以上</p> <p>③中性脂肪 150mg/dℓ以上 ④HDLコレステロール 39mg/dℓ以下</p> <p>⑤LDLコレステロール 119mg/dℓ以上</p> <p>⑥空腹時血糖値 100mg/dℓ以上</p> <p>⑦尿蛋白検査(±)以上</p>
教室開催形態	<p>・4回開催を1クールとしたもの 1教室 各実人数 10名</p> <p>・3回開催に1クールとしたもの 1教室 実人数 11名</p>
講師	医師、管理栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士、保健師

#### 各コースの内容等

		月 日	内 容	参加人数
4 回 コ ー ス	1 回目	9月28日	医師による講話、体組成測定	10
		選択日	血液検査 1 回目	9
	2 回目	10月5日	栄養に関する講話・食事聞き取り調査 バランス弁当の試食	10
	3 回目	10月19日	運動に関する講話と実技 歯科に関する講話と実技	7
			電話支援①	10
		電話支援②	9	
	選択日	血液検査 2 回目	7	
4 回目	2月1日	栄養に関する講話、体組成計測定 振り返り・行動目標達成シート作成 コメント入り行動目標達成シート発送	8 10	
3 回 コ ー ス	1 回目	12月3日	医師による講話、体組成測定 歯科に関する講話と実技 栄養に関する講話・食事聞き取り調査 バランス弁当の試食	10
		選択日	血液検査 1 回目	11
	2 回目	12月10日	運動に関する講話と実技	9
			電話支援①	11
		電話支援②	11	
		選択日	血液検査 2 回目	10
	3 回目	3月4日	栄養に関する講話、体組成計測定 振り返り・行動目標達成シート作成	9
コメント入り行動目標達成シート発送			11	

## ◆ 栄養改善

健康増進法等に基づき各種栄養改善事業を実施した。

また、「健康づくり豊田21計画（第三次）」の栄養・食生活分野の取組を推進するため、市民の健康の維持増進に努めた。

### (1) 栄養相談

市民の栄養、食生活に関する相談に応じた。

栄養相談件数(令和2年度)：来所…2件、電話…4件

相談内容別内訳(延べ件数)

重点健康相談					総合健康相談
脂質異常症	糖尿病	歯周疾患	骨粗しょう症	その他病態	
2	1	-	-	3	-

### (2) 地区組織の育成、指導(栄養士連絡会)

市内在勤、在住の栄養士で構成する栄養士連絡会の会員を対象に研修会等を開催し、栄養士相互の連絡調整や資質向上を図った。より有意義な会として位置づける為、会員のニーズにあった研修会を実施し、参加者の増加に努めた。

	回数	参加者数	内容
研修会	1	-	高齢者の栄養管理
役員会	2	11	企画、協議、事業計画、連絡調整

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により研修会、役員会共に1回書面開催とした

### (3) 特定給食施設指導

健康増進法に基づき、特定給食施設事業実施状況報告書の提出を求め、給食内容や栄養士の配置状況などを把握し指導等を実施した。

#### ア. 状況調査(総計:214施設)

	管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもある施設			栄養士のみ いる施設		管理栄養士・ 栄養士どちら もない施設
	施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数	
学校	8	12	3	25	13	-	-	3
病院	4	14	11	63	27	1	1	-
介護老人保健施設	2	5	5	12	8	-	-	-
老人保健施設	11	15	8	9	9	2	2	-
児童福祉施設	4	9	1	1	1	-	-	-
社会福祉施設	3	3	1	1	1	3	3	1
事業所	67	73	10	12	10	21	23	20
寄宿舍	14	17	3	4	3	3	3	3
矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	1
一般給食センター	-	-	1	2	4	-	-	-
計	113	148	43	129	76	30	32	28

#### イ. 指導施設数

6施設(病院…0、福祉…0、事業所…5、学校…0、寄宿舍…1)

#### (4) 栄養表示基準等指導・相談

健康増進法第 61 条及び 65 条に基づく栄養表示食品に関する指導、相談、収去

	指導	相談	収去
栄養表示基準	—	—	—
誇大広告	—	—	—

#### ◆ 歯科保健(8020推進事業)

健康増進法等に基づき各種歯科保健事業(教育・相談・健診)を実施した。

また、「健康づくり豊田21計画(第三次)」の歯の健康分野の取組及び「豊田市歯と口腔健康づくり条例」の施行に伴い作成された「8020(ハチマルニイマル)市民運動」を推進するため、歯科保健関係団体(歯科医師会・歯科衛生士会・豊田市健康づくり協議会等)と連携し歯科疾患の予防や歯・口腔の健康に関する正しい知識の普及啓発に努めた。

##### (1) 来所・電話相談

市民が歯の健康について気軽に相談できるように、来所又は電話による歯科相談窓口を開設している。相談者のライフスタイルやQOLに配慮した相談を行うために、積極的に情報収集に努める必要がある。

日時：随時、来所(要予約)

内訳：来所…1件、電話…13件

##### (2) 歯の健康教育

###### ア. よい子の歯みがき運動啓発事業

6歳臼歯の保護育成を目的とし、市内のこども園(私立幼稚園含む)の5歳児を対象に普及啓発活動を展開した。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、歯科衛生士による健康教育の実施は中止し、啓発資料の配布のみとした。

・啓発配布資料：4歳児「歯みがきカレンダー(両面)」…3,595部

5歳児「歯みがきカレンダー(両面)」…3,611部

5歳児保護者「6歳臼歯は8020の道しるべ/いい歯の心得8か条」…3,611部

###### イ. 口腔機能向上支援事業(お口の健康教室)

高齢者が口腔機能を維持・向上し、いつまでも自立した豊かな生活を送ることができるよう、比較的簡単にできる口腔機能に関する訓練や体操を指導する教室を開催している。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

### ウ. 親子ピカピカ教室(むし歯予防教室)

子育て支援施設と共催または地域からの依頼により、むし歯の増加する時期に親子で歯について関心を持ち、生活習慣とのかかわりを認識して歯みがきの習慣化の必要性についての教室を開催している。

対象	未就園児					
内容	①教育(むし歯予防、フッ素、噛むことについて) ②実技指導(歯みがき指導)					
年度	30		元		2	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
交流館	3	95	4	130	—	—
子育て支援施設	39	1,303	35	1,069	—	—
自主グループ(地域、団体等)	8	174	4	48	—	—
合計	50	1,572	43	1,247	—	—

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

### エ. 歯っぴかフェスタ

歯と口の健康週間事業として、市民に歯と口の健康づくりに関する正しい知識啓発に努めた。

新型コロナウイルス感染症の影響により、体験型イベントは実施せず、商業施設等の協力を得てポスター掲示及び啓発物等の配布を実施した。

	項目	期間	詳細
1	ポスター掲示 (みんないい歯で元気になろう)	6月4日～6月10日	市内商業施設 48 か所に掲示
2	啓発物配布(歯ブラシ、冊子)		市内商業施設 19 か所に設置 配布数: 1,420 セット
3	バス車内広告掲載 (「8020」から「9020」へ)	6月1日～6月30日	おいでんバス全路線にてポスター車内掲載

### オ. その他健康教育

交流館、学校、自主サークル等地域で活動している人に対して、8020(ハチマルニイマル)を推進していくために歯や口の健康に関する講話及び実技指導を実施している。

年度	30		元		2	
依頼団体	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数	依頼回数	参加者数
交流館	—	—	2	77	—	—
園、学校(小、中、高校等)	2	198	—	—	—	—
自主サークル(地域、団体等)	5	72	1	39	—	—
合計	7	270	3	116	—	—

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

### カ. いい歯の日キャンペーン

「自分で守ろう!自分の歯!」をスローガンに掲げ、市内の事業所等に歯ブラシと啓発チラシを11月8日又は前日に設置し歯みがきの大切さと8020(ハチマルニイマル)に関する正しい知識の普及啓発をした。

- ・ 配布施設数: 58 施設
- ・ 配布数: 5,995 セット

### (3) 歯科健康診査

#### ア. 成人歯科健診

20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳を機に歯の健康状態のチェックを受け、歯の健康についての知識を高めてもらうため、医療機関個別方式で健診が受けられる受診券を送付した。

個人負担金	無料		
対象者	20歳、25歳、30歳、35歳、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳		
年度	30	元	2
20歳	151	151	138
25歳	221	217	234
30歳	258	257	258
35歳	194	185	168
40歳	152	178	143
45歳	124	133	119
50歳	151	157	156
55歳	115	104	101
60歳	160	161	129
65歳	205	205	172
70歳	293	310	249
75歳	184	165	99
合計	2,208	2,223	1,966

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止期間あり

#### イ. 妊産婦歯科健診

生理的変化に伴い歯周疾患が急増する妊産婦に対して、口腔疾患の予防と早期発見に努め、胎児の口腔を健全に发育させるために、医療機関個別方式で健診が受けられる受診票を母子健康手帳交付時に配布した。

個人負担金	無料		
対象者	妊婦、産婦(産後1年未満)		
年度	30	元	2
妊婦	1,306	1,262	1,168
産婦	874	776	673
合計	2,180	2,038	1,841

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止期間あり

#### ウ. 幼児歯科健診

う歯の保有者率が大きく増加する時期に、むし歯予防に関する意識の啓発を図り、生活環境、口腔状態に応じた個別口腔ケア指導を実施することが有効である。医療機関個別方式で、健診が受けられる受診券について、1歳6か月児健診で幼児歯科健診受診券①、3歳児健診で受診券②③を配布した。

個人負担金	無料		
対象者	1歳6か月～2歳児…受診券①、3歳児…受診券②、4歳児…受診券③		
年度	30	元	2
受診券①	962	892	992
受診券②	617	565	366
受診券③	404	374	331
合計	1,983	1,831	1,689

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一時中止期間あり

#### (4) 豊田市障がい者歯科事業

障がい者の歯科疾患予防及び疾患の早期発見を図ることを目的として、障がい者及び施設の職員に対し、歯科健康診査や施設への訪問指導を実施しました。

(年度末現在)

年度等	元		2	
	施設数	実施者(人)	施設数	実施者(人)
歯科健康診査(通所施設)	15	369	—	—
施設訪問指導(入・通所施設)	2	17	—	—

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

### ◆ 健康づくり豊田21計画(第三次)推進事業

#### (1) 普及啓発事業

##### ア. イベントによる啓発事業

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

##### イ. 小、中学生健康教育資料配布

生活リズム(睡眠)・喫煙防止・飲酒防止について、パンフレットを作成し、小中学校へ配布した。

内容	対象	部数	
生活リズム(睡眠) 「好調な小学校生活をスタートさせるために」	令和3年度小学1年生保護者	4,200	
生活リズム(睡眠) 「ねる子は育つって本当？」	小学生用	小学3年生	4,310
	中学生用	中学1年生	4,526
喫煙防止 「たばこってなあに？」	小学生用	小学6年生	4,519
	中学生用	中学2年生	4,550
飲酒防止 「アルコールってなあに？」	小学生用	小学6年生	4,519
	中学生用	中学3年生	4,402
飲酒防止 「子どもをアルコールから守りましょう」		小学6年生保護者	4,519
		中学3年生保護者	4,402

##### ウ. 啓発物品貸し出し・配布

健康づくりをPRするため、自治区等が主催する健康づくりに関するイベント・講座等へ啓発物品の配布、着ぐるみの貸し出しを行った。

・着ぐるみの貸し出し きらちゃん 1件、たべまる 0件

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により貸出回数の減少。

#### (2) ウォーキング地区支援事業

##### ア. ウォーキング地区支援事業

まちぐるみで行うウォーキングの促進を図るために、イベント企画の手引き「てくてく虎の巻」を作成し、ウォーキングイベントで使用する啓発物品の配布やグッズの貸し出しを行った。



主体分類	実施 件数	参加者数	啓発物 配布数	のぼり 貸出枚数	手旗 貸出本数	ビブス 貸出枚数	拡声器 貸出個数	歩数計 貸出個数
自治区	4	687	680	5	—	—	—	—
コミュニティ会議	6	1,096	1,006	—	—	—	—	—
ヘルサポ	1	500	408	5	—	—	—	—
高齢者クラブ	1	74	70	1	3	2	1	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	12	2,357	2,164	11	3	2	1	—

注 令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数の減少

#### イ. ウォーキングコース整備事業

市民の自発的な健康づくりの動機づけと実践の支援のために、既存のウォーキングコースの整備及び啓発を行った。

### (3) 健康づくり宣言・実践事業／とよた健康マイレージ事業

#### ア. きらきらチャレンジ90

食事や運動などの健康づくりの宣言をし、周りの人（サポーター）に応援してもらいながら、90日間取り組み、定着することを目的に実施した。

取組達成者：897人

#### イ. あいち健康づくり応援カード～MyCa～（優待カード）交付

きらきらチャレンジ90の取組達成者に、年度に1回、愛知県内の協力店で使用できる優待カードを交付した。

優待カード交付数：500枚

### (4) ベジタブル&トレーニング とよた プラス10<sup>じゅう</sup>

健康づくり豊田21計画（第三次）の重点プロジェクトとして、「プラス10<sup>じゅう</sup>」を合言葉に、「野菜摂取」と「運動」を日常生活へ取り入れる取組を実施した。

#### ア. 健康づくり啓発シール配布

「プラス10」を合言葉にした健康づくりを日常生活で実践できるよう、オフィス等に掲示するための啓発シールを配布した。

配布件数：179件

#### イ. 健康づくり教室実施

健康づくり啓発シール配布先のうち希望する事業所に対し、野菜摂取の講座と運動の実技の教室を実施。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

#### ウ. 「野菜の日」啓発

8月31日の「野菜の日」に合わせ、市内スーパー等でチラシやのぼり旗を用いて啓発した。

実施店舗：43店舗

## ◆ きらきらウエルネス地域推進事業

中学校区ごとの地域特性に応じた健康づくりを地域主体で推進することにより、地域全体の健康水準の向上を目的とし、以下の事業を実施した。

### (1) 健康づくり意見交換会

地域住民と共に、地域における健康課題を共有し、健康に関する理解を深め、課題解決に向けての取組について意見交換を行った。出された意見等を反映させ、住民と共働で事業計画案を作成し地域の健康づくりを推進していく。

年度	地域	内容	実施回数	参加人数 (延べ)	共催
28	猿投台	意見交換会	2	68	地域会議
		計画策定	2	10	策定メンバー
	崇化館	意見交換会	2	77	コミュニティ会議
	豊南(今自治区)	意見交換会	1	36	—
		計画策定	3	22	策定メンバー
29	竜神	意見交換会	2	64	—
		計画策定	4	56	策定メンバー
	上郷	意見交換会	2	68	地域会議、コミュニティ会議
		計画策定	4	50	策定メンバー
	藤岡南	意見交換会	2	91	コミュニティ会議
		計画策定	3	28	コミュニティ会議
	浄水	意見交換会	2	64	コミュニティ会議
		計画策定	3	25	策定メンバー
30	石野	計画策定	6	48	交流館運営委員会
元	高橋	意見交換会	2	65	コミュニティ会議
		計画策定	5	51	コミュニティ会議
	猿投	講演・意見交換会	2	133	コミュニティ会議
		計画策定	3	45	コミュニティ会議
	逢妻	意見交換会	2	64	コミュニティ会議
		計画策定	3	24	コミュニティ会議
	小原	計画策定	4	44	計画策定委員会
豊南	計画策定	1	3	コミュニティ会議	
2	益富	計画策定	2	11	コミュニティ会議
	足助	計画策定	9	146	高齢者課題等情報交換会(地域会議：足助地域会議ビジョン分科会) 足助地区子育て情報交換会
	下山	計画策定	10	115	下山地区まちづくり協議会 子育てに関する意見交換会
	旭	計画策定	8	124	持続可能なまちづくり協議会 地域会議
合計	意見交換会	29	1,170		
	計画策定	77	868		

計画に基づく健康づくり事業実施（事業数／参加人数(実・延べ)）

年度 地域	30			元			2		
	事業数	参加人数		事業数	参加人数		事業数	参加人数	
		実	延べ		実	延べ		実	延べ
松平	26	2,453	6,784	22	961	3,296	11	134	4,911
藤岡	46	3,143	3,875	20	1,276	2,552	5	70	230
美里	85	3,764	68,147	136	9,439	68,680	74	2,439	58,610
若園	32	3,523	5,076	31	3,419	5,404	5	172	1,023
猿投台	48	1,504	7,986	45	1,524	7,927	10	136	3,596
崇化館	14	600	3,783	14	567	4,498	4	189	942
豊南(今自治区)	11	483	1,243	9	337	1,018	—	—	—
竜神	21	892	2,214	71	1,251	3,165	13	242	1,570
上郷	45	2,063	5,838	41	1,403	4,446	16	571	2,421
藤岡南	18	867	1,558	14	626	1,467	4	159	159
浄水	35	1,619	11,763	33	1,746	15,693	20	1,290	14,283
石野	2	18	48	36	1,064	3,450	5	74	164
高橋	—	—	—	2	46	116	16	1,283	3,329
猿投	—	—	—	2	38	178	3	461	461
逢妻	—	—	—	2	38	88	15	566	6,707
小原	—	—	—	1	11	44	20	514	1,838
豊南	—	—	—	1	3	3	—	—	—
益富	—	—	—	—	—	—	1	6	11
足助	—	—	—	—	—	—	1	24	146
下山	—	—	—	—	—	—	1	39	115
旭	—	—	—	—	—	—	1	39	124
合計	383	20,929	118,315	480	23,749	122,025	225	8,408	100,640

(2) 地域診断検討会

各課が保有するデータから地域の健康課題を共有し、その原因や背景を明確にすることにより、科学的根拠に基づいた保健事業の推進や連携を図ることを目的に開催する。

年度	開催日	内容	出席	参加人数
28	2月3日	(1) きらきらウェルネス地域推進事業の進捗状況 (2) 健康関連データの分析結果 (3) 地域カルテの説明 (4) 地域の健康課題解決に向けたグループワーク	11課	40
29	1月29日	(1) きらきらウェルネス地域推進事業の進捗状況 (2) 健康関連データの報告 (3) 各課の健康に関する課題とその対策や方向性、関連計画について (4) 『連携してできる健康づくりの取組について』グループワーク	13課	28
30	2月15日	(1) 健康関連データの収集結果の報告 (2) 介護保険データ分析結果の報告 (3) 地域福祉計画策定に向けたアンケート調査結果の報告 (4) 健康課題の体系図についての意見交換 (5) 課題解決に向けた方向性の意見交換	13課	25
元	9月19日	(1) 健康関連データ・健康課題の共有 (2) 市民に伝わる健康課題ストーリーの検討、必要データの選定 (3) 運用方法	6課	11
	10月30日	(1) 啓発媒体(案)の検討、掲載データの確認 (2) 啓発行動ポイント及び紹介事業の選定 (3) 運用方法	6課	11
2	3月15日	(1) 健康関連データ・健康課題の共有 (2) 健康課題の啓発について協議	11課	19

### (3) 地域の健康づくり発表会

きらきらウエルネス地域推進事業の各中学校区での取組を発表することで、市内の健康づくりの活動の充実を図ることを目的とする。

年度	開催日	開催場所	発表地区数	発表者	参加者	参加人数
28	平成29年 3月22日	庁内会議室	28	地区担当保健師	市職員、関係機関	50
29	平成30年 3月27日	豊田産業文化センター 小ホール	4(藤岡、松平、美里、若園)	市民、地区担当保健師	市民、市職員関係機関	220
30	平成31年 3月26日	庁内会議室	5(崇化館、猿投台、上郷、豊南、旭)	地区担当保健師	市民、市職員関係機関	144
元	令和2年 1月8日	豊田市民文化会館小ホール	3(竜神、石野、浄水)	市民、地区担当保健師	市民、市職員関係機関	188
2	未開催	※R1までは毎年開催、R2からは2年に1回(奇数年)に開催				

### (4) 健康づくり推進事業補助金

地区コミュニティ会議(健康づくり部会等)が実施する健康づくり推進事業に補助金を交付することで、コミュニティ活動の活性化と健康づくりに取り組む地域住民の増加を図ることを目的とする。

年度	地区数	地区名
29	9	逢妻、梅坪台、浄水、美里、前林、井郷、石野、猿投、藤岡南
30	14	逢妻、梅坪台、浄水、崇化館、美里、松平、稲武、上郷、末野原、前林、若園、井郷、猿投、藤岡南
元	13	逢妻、梅坪台、浄水、美里、松平、足助、稲武、上郷、末野原、前林、若園、井郷、藤岡南
2	2	浄水、前林

#### ◆ ヘルスサポートリーダー養成事業

##### (1) ヘルスサポートリーダー養成講座

主に地域の健康づくり教室にかかわる健康づくりボランティアを養成するために、栄養・運動・生活習慣病予防等健康づくりに関する知識や技術を習得する。新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、未実施。

## (2) ヘルスサポートリーダー育成事業

ヘルスサポートリーダーが、地域の健康づくりを推進するために必要な知識や技術を習得し、資質向上を図る。新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、従来の中央集中型でなく、地区会で地区担当保健師が行った。

日にち 令和2年10月～11月

場 所 市内交流館等26か所

内 容 新型コロナウイルス感染症の基礎知識、新しい生活様式でのヘルサポ活動

人 数 延242人

## (3) ヘルスサポートリーダーが行う健康教室

平成28年度から市の健康課題解決に向けて、「とろう！野菜350g」を重点テーマとした健康づくり講座を企画、その他地域が主催する講座、イベント等に出向いてミニ講話等を実施。新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、講座等の開催は未実施。交流館で健康に関する展示を行い啓発した。

回 数 17回

地区	日にち	会場
朝日丘	11月17日～11月17日	朝日丘交流館
逢妻	2月26日～3月31日	逢妻交流館
梅坪台	12月8日～12月22日	梅坪台交流館
浄水	2月2日～2月12日	浄水交流館
高橋	10月24日～10月31日	高橋交流館
末野原	11月10日～1月18日	末野原交流館
	1月19日～3月31日	末野原交流館
若林	12月2日～12月18日	若林交流館
前林	2月1日～2月15日	高岡コミュニティセンター
	2月16日～2月28日	前林交流館
猿投台	11月1日～11月29日	猿投台交流館
井郷	3月11日～3月24日	井郷交流館
保見	2月9日～2月26日	保見交流館
猿投	3月27日～4月1日	猿投北交流館
藤岡南	11月8日～11月14日	藤岡南交流館
旭	3月2日～3月19日	旭交流館
小原	3月19日～4月9日	小原交流館

## ◆ 自殺対策計画推進事業

平成31年3月に策定した豊田市自殺対策計画に基づいて、特に未然防止に重点をおき、「一人でも多く自殺者を減らす」ことを目標に、市民等への啓発活動及び人材育成に努めた。

### (1) 市民、事業所への啓発

#### ア. 自殺予防キャンペーン

集中的な啓発事業等を通じて、市民に自殺やうつ病についての正しい知識の普及啓発を行うとともに、これらに対する偏見をなくし、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気づいた場合の対応方法についての理解を図った。

自殺予防週間／令和2年9月10日～16日

日程	事業名	実績
9月1日～30日	庁内職員及び来庁者への啓発	庁内放送・電光掲示・ポスター掲示 啓発物品5種配布(合計175セット)
9月10日～16日	豊田市中心図書館来庁者への啓発	特設コーナー設置 啓発物品6種配布(合計555セット)

自殺対策強化月間／令和3年3月

日程	事業名	実績
3月1日	事業場等へニュースレター配信	紙媒体700部、電子メール41通
3月1日～31日	庁内職員及び来庁者への啓発	庁内放送・電光掲示・ポスター掲示 特設コーナー設置 啓発物品8種配布(合計600セット)
3月1日～31日	豊田市中心図書館来庁者への啓発	特設コーナー設置 啓発物品7種配布(合計850セット)

#### イ. こころの健康づくりニュースレター

事業場に対してこころの健康づくり等に関する情報を提供することにより、事業場の就労者及びその家族の健康づくりに対する意識の向上をめざし、職場ぐるみ、地域ぐるみで健康づくりに取り組めるための動機づけの機会とした。

時期	1月～3月(月1回)	
対象者	豊田労働基準協会加盟の700事業場の従業員 豊田商工会議所メールマガジン読者等	
方法	豊田労働基準協会：加盟の700事業場に紙面配布(うち41事業場へ電子メールにて同時配信) 豊田商工会議所：メールマガジンにて配信 豊田市役所：ホームページ掲載及び啓発コーナーへ紙面設置 豊田市中心図書館：特設コーナーへ紙面設置	
内容	こころの健康づくり等に関する情報提供(A4 2枚程度)	
時期	テーマ	担当者
1月	「劣等感と劣等コンプレックスについて」	NPO 法人日本次世代育成支援協会 代表 鷲津 秀樹
2月	「劣等感と劣等コンプレックスについて②」	
3月	「新しい環境におけるメンタルヘルス」	

## ウ. 若者向けのこころの健康づくり啓発

大学、高専の学校祭にてチラシや啓発グッズを配布し、若年層へこころの健康づくりの意識付けを図った。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施。

## エ. 自殺未遂者支援

「自殺未遂再発防止相談カード」を作成し、医療機関、警察署、消防署を通じて、自殺未遂者等へ配布した。

## (2) ゲートキーパー養成研修

### ア. 市職員向けゲートキーパー養成研修

窓口における各種相談対応等を通して、自殺リスクを抱えた市民を早期に発見し、支援へとつなぐ役割を担える人材を育成するために全庁的な取組として職員への研修を実施した。

日程	事業名	実績
6月1日～6月19日	市新規採用職員向けゲートキーパー研修	Eラーニング受講率：96.6%
7月13日～7月31日	市職員向けゲートキーパー研修	Eラーニング受講率：79.3%

### イ. 支援者向けゲートキーパー養成研修

地域における各種相談対応等を通して、自殺リスクを抱えた市民を早期に発見し、支援へとつなぐ役割を担える人材を育成するために支援者への研修を実施した。

日程	事業名	実績
10月8日～12月8日	民生委員・児童委員向けゲートキーパー研修	211人（11地区）

## ◆ 受動喫煙防止対策事業

### (1) 受動喫煙防止啓発事業

とよた下町おかみさん会とのクリーンアップ活動を市民との共働で実施した。

日時	場所	内容
毎月第1金曜日 午前8時～8時30分	名鉄豊田市駅	タバコの吸殻等のごみ拾い

### (2) 世界禁煙デー及び禁煙週間啓発事業

期間	内容	場所等
5月31日～6月6日	ポスター掲示及び啓発物等（エコバッグ、チラシ）の配布	庁内掲示板及び市内商業施設(27か所)
5月31日～6月6日	電光掲示板掲載・庁内放送・啓発物展示	豊田市役所庁舎内
5月31日～6月6日	横断幕の設置	スカイホール豊田

### (3) 受動喫煙防止対策実施施設認定事業

健康増進法の改正に伴い、令和2年4月1日より原則屋内禁煙となり本事業は廃止となった。

## ◆ 食育推進事業

平成 28 年 9 月に策定した第 3 次豊田市食育推進計画に基づいて推進事業を展開した。

### (1) 推進組織

豊田市食育推進会議

日程	主な内容
—	—

注：令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

### (2) 食の学び舎開設

#### ア. 親子食育講座

子どもたちが自分で自分の健康を守り、健全で豊かな食生活をおくる能力を身に付けるよう、また食べ物に対する意識を高め、よい生活習慣を身に付けるために、幼児期から小学生とその保護者を対象に講話や調理実習を実施した。

年度	元			2		
	回数	人数		回数	人数	
		子ども	大人		子ども	大人
初級	—	—	—	—	—	—
中級	—	—	—	—	—	—
行事食	—	—	—	—	—	—
お話	—	—	—	—	—	—
子育て支援センター	24	202	189	—	—	—
その他	4	25	24	—	—	—
合計	28	227	213	—	—	—

注：令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

#### イ. 栄養教育(出前講座)

自主サークル等地域で活動している人に対し、栄養、食生活に関する講話、相談を実施した。

年度	28	29	30	元	2
件数	15	19	18	13	—
人数	391	361	514	306	—

注：令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

### (3) 食育実践教材の作成

子どもたちが、望ましい食習慣を身につけ、豊かな人間性と健康な体をはぐくむことができるよう、カリキュラムに基づく食育実践教材を配布、販売した。

#### ①「箸の持ち方・食事のマナーについて」ちらしを配布

対象：新入園児、小学校新入学児童(保護者向け)、中学校新入学生徒(本人向け)

#### ②食育教材の貸出 0 回

令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により貸出制限あり。

#### ③「豊田市食育カルタ」を課窓口にて販売 12 個

平成 21 年 12 月から販売開始：1 セット…300 円



#### (4) かみかみ運動推進

よく噛んで食べることの必要性について、体験ツール(ガム及びかみかみセンサー)を活用し啓発事業を実施した。また、8020市民運動(いい歯の心得8か条)及び健康づくり豊田21計画(第三次)の推進を併せて実施した。

年度	30		元		2	
	施設数	参加延べ人数	施設数	参加延べ人数	施設数	参加延べ人数
小学校	10	432	8	393	—	—
中学校	2	160	—	—	—	—
高校	1	200	—	—	—	—
その他(自治区等団体)	16	1,540	12	1,110	—	—
合計	29	2,332	20	1,530	—	—

注：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により貸出中止とした

#### (5) 食育月間・食育の日普及啓発

食育の大切さを市民にPRするため、食育月間(6月)の食育の日(毎月19日)「おうちでごはんの日」を中心に啓発等を実施した。

	項目	期間	内容
1	横断幕設置	6月1日～6月30日	駅前等市内3か所設置
2	懸垂幕設置	6月8日～6月30日	市役所内1か所設置
3	市役所内PR	6月19日	庁内放送にて「毎月19日はおうちでごはんの日」をPR
4	バス車内広告掲載	6月1日～6月30日	おいでんバス全路線にてポスター車内掲載
5	市内スーパーにてPR	6月1日～6月30日	市内スーパー等(41店舗)にてポスター掲示

#### (6) 食育人材バンク

食育に関する知識や技術、経験を持つ人材を登録し、地域等からの依頼に応じて食育活動を実施した。平成30年6月に「食育応援し隊」と「人材バンク」を統合した。

食育人材バンクの募集と登録件数

食育人材バンク登録件数	27件
食育人材バンク活用状況	活動件数…1件、参加者数…8名

#### (7) 食育Facebookによる啓発

10代後半から20代の若い世代に焦点を当て、望ましい食事や食習慣に関心を持つきっかけづくりとしてSNSを活用し、食に関する知識・イベント情報等を随時発信した。また食を通じて自らの健康に配慮した食生活を送ることができるよう啓発を行った。

内容	件数
市の食育事業の紹介やイベントに関する情報	9
食育に関する情報	23
食育応援し隊・人材バンクの活動紹介に関する情報	0
たべまるの活動報告に関する情報	0
行事食に関する情報	17
健康に関する情報	4
その他	1
合計	54

## (8) たべまるの園訪問

職員がこども園、幼稚園を訪問し食育キャラクターたべまるを活用し、園児に好ましい食習慣や朝食の大切さを伝えた。平成30年度から着ぐるみを用いない新たな講座を実施した。

着ぐるみと料理模型を用いた講話（約40分）…0園

エプロンシアターと料理模型を用いた講話（約40分）…0園

注：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

## (9) 行事食の普及

食文化への意識を高めるため、子どもと大人が一緒になって行事食に触れる機会として、次の教室を開催した。

親子行事食教室…0回

注：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

## (10) 高校生への出前食育講座

市内高校生を対象に、朝食の大切さやバランスの良い食事を理解し、自分の食生活を振り返る機会として、出前講座を実施した。また、令和2年度からWEBを活用した食育講座を実施している。

実施校 1校	全校または指定学年への講話	—
	指定学年への講話・調理実習	—
	文化祭への参加（健康づくりコーナー）	—
	WEBによる授業参画	1

注：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部未実施

## (11) 若者向け調理実習

将来親になる若者が食の大切さを学び、望ましい食習慣を身に付けることや、調理を通して食に対しての親しみを持つことを目的に料理教室を開催した。

クッキング教室（調理実習とミニ講話）…0回

注：令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により未実施

## ◆ 原子爆弾被爆者援護事務

市内の原子爆弾被爆者の便宜を図るため、愛知県知事への申請の経由事務等を行った。

項目	件数
被爆者健康手帳交付申請、再交付申請	1
被爆者死亡届、葬祭料支給申請書	5
被爆者一般疾病医療機関指定申請、変更、辞退	25
被爆者医療特別手当健康状況届	—
各種手当認定申請	—
被爆者一般疾病医療費支給申請	—
被爆者一般疾病医療費一部負担金相当額支給申請	—
被爆者居住地変更届	—
被爆者介護手当支給	—
訪問介護利用被爆者助成受給資格認定申請	—
振込先口座変更届	—
交通手当金支給申請	2